

水田園芸の推進について

令和5年2月8日(水)、石川県農業会館6階大会議室にて、いしかわ園芸振興推進本部委員会が開催されました。会議では、重点推進品目の今年度の振興取組み状況の報告および令和5年度の方策を協議しました。次年度の目標の達成に向け、以下のとおり支援策を講じながら、各関係機関と連携し、生産拡大と農業者の所得増大を図っていきます。

○全農いしかわ園芸振興推進助成

1. 新規拡大推進助成

対象品目	助成額		注①		助成対象面積	
	1年目	2年目	2年目	2年目	下限	上限
ブロッコリー (越冬作型除く)	15,000円	7,500円			10a	50a
かぼちゃ(抑制作型除く)	20,000円	10,000円			10a	50a
白ねぎ	20,000円	10,000円			10a	50a
たまねぎ	30,000円	15,000円			10a	100a

2. ブロッコリー輪作推進助成

助成対象区分	助成額	助成対象面積	
		下限	上限
早稲刈り跡水田	15千円/10a	10a	100a
かぼちゃ跡圃場	15千円/10a	10a	100a
麦跡圃場	15千円/10a	10a	100a

3. かぼちゃ契約的取引拡大助成

助成単価	前年比出荷増加量	取組み加算	
		(ZGIS圃場管理)	(作付増反者)
	5円/kg	(+1円/kg)	(+1円/kg)

※MVMへの鉄コンテナ出荷全生産者が対象

4. 生産拡大助成 ※面積拡大者が対象

《白ねぎ》

助成対象区分	助成単価
年内販売増加量	20円/kg

《たまねぎ》

助成対象区分	助成単価
販売増加量	5円/kg

○園芸振興アタック16 取組み実績に応じ、JAに対し最大13万円助成

取組み項目	内容	助成上限	取組み項目	内容	助成上限
取組みの実践	進捗管理表の作成・実施	2万円	単収の向上	栽培講習会開催 実証圃の設置	3万円
新規生産者確保	新規助成申請 推進資料の作成配布	3万円	広域連携	近隣JA選果場の利用 受け入れ・持込	2万円
R5年度 追加取組み項目		内容			助成上限
成功モデル確立		重点生産者1名を選定し、産地で推奨する単収確保に向けた取組みの実践			3万円

○石川県「水田園芸推進による農業収益力向上」事業

「水田園芸チャレンジ支援(15,000千円)」

・新たに水田園芸に取り組む意欲的な生産者に対し、取組開始時の負担軽減や技術指導等を3年間重点的に支援

《対象》 認定農業者、営農組織等(作付面積10a以上)

《対象経費》 栽培に係る排水対策(必須)、種苗費、肥料費、農薬費、機械レンタル費等

《補助率》 1/2以内(上限15万円)

令和5年4月24日(月) いしかわ園芸振興推進大会 を開催します!

令和5年度、**水田園芸+20ha拡大**を目標に、新規栽培者の確保に向け、支援策の積極的な活用をお願いいたします。

【次世代総点検運動】 取組工程表の活用

次世代総点検運動 取組工程表【3か月 月次】										JA000		
取組項目	実施者/参集者	2月(予定)			2月(実績)			3月			4月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
① 支援チーム会議の開催	JA/農林・市町			24日				8日	16日 第4回管理 者会議			14日
② 取組検証、工程表見直し検討	JA							工程表 作成・共有			工程表 作成・共有	検証 見直し
③ 事業計画、地域農業戦略への反映	JA	事業計画等 検討、反映						年間総括			戦略作成時反映	
④ 現状把握、10年後の見直し予測	JA	データ集計 予測作成						未作成 分作成	10地区 作成	未作成 分作成	10地区 作成	
⑤ 維持見込の判定	JA/農林・市町			JAが 見込作 成	24日			8日 2割 完了				
⑥ 優先順位付け 判断基準の記入 状況(支援)タイプ区分け	JA			優先順 位、仮 付け	24日			8日 選定				
⑦ 優先エリアに対する聞き取り	JA/農林・市町											A集落 B集落 あゆみ会
⑧ 取組具体策の検討 アクションプラン組み込み	JA/農林・市町							方法検 討			14日 方法検 討	
⑨ 優先エリアの担い手との話し合い、 取組具体策の実施に向けた合意形成	JA/農林・市町											

※ 取組工程表は、月次で見直し検討。
※ 市町・農林事務所等と定期的な支援チーム会議を開催し、産地再興プロジェクトや地域計画の取り組みと連携して実施。

令和5年度は、左記の取組工程表を用いて運動を進めます。令和4年度の点検結果を活用して着実に進めるため、取組みを月次のPDCAサイクルで確認する手法となります。当室がJAに出向いて取組工程表を活用したJAの取組みをご支援します。

TAC海外視察研修が開催されました（ドイツ）

2月12日(日)～2月20日(月)にかけて、TAC海外視察研修が開催されました。

この海外研修は、TACパワーアップ大会において全国表彰を受けたJA及びTAC担当者が副賞として参加することができ、今年度は過去2年間、コロナ禍で開催されなかった2020年～2021年の受賞者も含めて総勢30名がドイツを訪問し、うち石川県より7名が参加しました。

内容としては、ザルビオ本社での世界的取組み、ぶどう農家や大規模農業法人などを訪問し、世界規模としての農業観を堪能しました。

TAC活動のモチベーション向上にもつながる本取組を目指し、次年度以降のTAC活動に繋げていきます。



～令和5年3月の予定～

期 日	内 容	場 所
3月16日(木)	次世代点検運動管理者会議(第3回)	WEB
3月17日(金)	デジタル技術活用研修会兼 地域営農マネージャーフォローアップ研修会	WEB

【お問い合わせ先】 JAグループ石川営農戦略室：岩田
TEL：076-240-5051 FAX：076-240-9120